JR西日本グループ

Switch! SUSTAINABLE TRAIN

NEWS RELEASE

もっとつながる。未来が動き出す。

2024 年 11 月 1 日
西日本旅客鉄道株式会社

TNFD 提言に基づく情報開示及び TNFD Adopter の登録について

西日本旅客鉄道株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役社長：長谷川一明）は、地球環境保護を重要な経営課題と認識し、「JR 西日本グループ環境基本方針」において、「地球温暖化防止・気候変動対策」「循環型社会構築への貢献」「自然との共生」を柱として取り組んでいます。

このたび、「自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD※1）」の提言に賛同し、TNFD Adopter※2 に登録するとともに「JR 西日本グループ 統合レポート 2024～価値創造報告書～」（2024 年 11 月 1 日公表）において TNFD 提言に基づく情報開示を行いましたので、お知らせします。

■TNFD 開示の概要

TNFD Taskforce on Nature-related Financial Disclosures

１．分析対象

JR 西日本グループの収益の約 6 割を占めるモビリティ業の中でも大部分を占める鉄道事業に関して、事業拠点の規模や自然資本との接点の大きさで絞り込みを行い、総合車両所（鉄道車両の検査・修繕・改造工事等を行う車両工場）を対象に分析しました。

２．分析内容

（１）依存と影響

総合車両所の主要な業務である定期検査に関する実態確認等により、依存については部品の洗浄や給水等に伴う水利用、影響については検査・修繕に伴う排出物等による水・土壌・空気・生物（動物）への影響を特定しました。

（２）リスクと機会

依存と影響の関係から、リスクと機会及びそれらへの対処と取り組みを分析しました。

リスクについては、主に水に関するリスクを確認しました。これまでに引き続き、ISO14001 に準拠した当社独自の環境マネジメントシステムの徹底をはじめとして、従業員の環境保護に関する意識醸成や排水処理装置の維持・管理といったハード・ソフト両面の施策を進めていきます。

機会については、地域社会との協働を進める他、各種資源の有効活用推進のため、省エネルギー、リサイクルの各種活動を進めていきます。また、環境負荷低減に資する当社グループ企業の製品・サービスのグループ外企業への販路拡大を進めていきます。

※1　自然資本や生物多様性に関するリスクや機会を適切に評価し開示するための枠組みを構築する国際的イニシアチブ
※2　2024 年度又は 2025 年度までに TNFD 提言に基づく情報開示を行う意向を表明する企業等

詳細は、JR 西日本企業 WEB サイトに公開しております、「JR 西日本グループ 統合レポート 2024～価値創造報告書～」をご参照ください。

（URL：https://www.westjr.co.jp/company/action/csr_report/）

JR 西日本グループは、引き続き情報開示の充実に努めるとともに、自然資本を保護する取り組みの推進を通じて持続可能な社会の実現に貢献していきます。

今回ご案内の取り組みは、SDGs の 17 のゴールのうち、特に 11 番、12 番、14 番、15 番に貢献するものと考えています。